

大菩薩嶺山行報告

【山行日】 2023年 7月 16(日) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 4:00
【費 用】 マイカー2台 : 4, 100円
【メンバー】 CL: 鈴木ユ、SL: 廣瀬 飯口、飯野、
植竹、大塚、嶋田、鈴木ミ、野口、福島、渡辺
【コースタイム】 岩舟支所P4:00=上日川峠 P6:10/6:35
~石丸峠 8:10/8:20~大菩薩峠 8:50/9:10~
大菩薩嶺 10:10/10:15~雷岩 10:25/10:40~
福ちゃん荘 11:20/11:55~上日川峠 12:35/12:45
=シャトー勝沼 13:10/13:30=岩舟支所P15:55



駐車場が心配なので4:00に岩舟支所を出発し、東北道から圏央道、中央道を走りフルーツラインを通して上日川峠に着く。道路脇の第一駐車場はすでに満車で、少し戻って第二駐車場に行き車を止める。



支度を整えたら上日川峠まで歩き、トイレを済ませてストレッチを行う。今日は新入会員の野口さんが参加されたので、それぞれ自己紹介を行ってから出発する。石丸峠への道はトイレの裏側から登山道に入り、樹林帯の道を緩やかに下って行く。2つ目の沢を渡り、急坂を登ると日川林道に出て休憩し衣服調整を行う。林道を少し先に行くと視界が開け、富士山が大きく見え皆さん大喜び。

林道からはカラマツ林の急な登山道をジグザグ登り、尾根に出ると傾斜が緩やかになり小屋平に出る。

ここからは熊沢山の南山腹を横切るように付けられた道を進み、明るく開けた笹原の道を進むと石丸峠に着く。ここは十字路になっていて、直進すれば牛の寝を経て小菅に下り、右に進むと小金沢連峰へ向かう道だ。我々は左に熊沢山に向かって登り、のびやかな草原の道を登り熊沢山に着く。ここからは一転して薄暗い針葉樹林帯の中を進み、しばらく下ると介山荘に着く。介山荘の隣に休憩舎とトイレがあり、大休止して果物や菓子をいただく。トイレを済ませたら出発し、すぐ先の大菩薩峠の標識前で記念写真を撮る。この先賽の河原と呼ばれるガレ場を進み、展望が良い岩稜を緩やかに登って行く。露岩の小ピークを越え、気持ちが良い尾根道を進むと巨岩が重なる雷岩に着く。



雷岩の基部は平坦で広く、大勢の登山者が休憩していた。我々も休憩しザックをデポして大菩薩嶺



に向かう。雷岩から針葉樹林の尾根上を北に進み、ほんの少し行くと大菩薩嶺の頂上に着く。頂上は樹林帯の中で眺望は無く、大菩薩嶺の山頂標識前で記念写真を撮ったら直ぐに雷岩に戻る。雷岩でゆっくり休憩を取り、富士山や南アルプスの眺望を存分に楽しんだ。皆さん満足そうに展望を楽しみ、富士山をスマホに収めていた。眺望を楽しんだらカラマツ尾根を下って福ちゃん荘に向かうが、急坂なので滑らないよう慎重に下って行く。登りの登山者が次々と登って来るので、すれ違いに時間が掛

かり思うように下れない。先頭と最後尾はかなり間が空いてしまうが、途中で待ちながらゆっくり下

る。傾斜が緩くなり樹林帯の道に入ると、ほどなくして福ちゃん荘に着く。隣にある東屋のベンチとテーブルを借り、お湯を沸かして昼食をいただく。いつものように持ち寄ったお惣菜が皿に盛られ、カップ麺やおにぎりを美味しくいただいた。トイレを済ませたら下山開始し、福ちゃん荘の脇から樹林帯の道を下って行く。



上日川峠には道路を下っても行けるが、やはり自然林の山道を下る方が気持ちが良い。

40分程下ると上日川峠に着き、駐車場で靴を履き替えたら帰路につく。途中の桃やプラムの

直売所に寄り、桃やプラムを購入する。さらにシャトー勝沼に寄より、ワインやジュースを試飲しお土産にゲットする。この日の最高気温は37度越えて猛烈に暑く、車に戻るまでに汗が噴き出てきた。中央道は渋滞も無く順調に走り、予定よりも1時間以上早く岩舟支所に帰着出来た。

